

- 10.一人のしもべ（ムハンマド）が、礼拝を捧げる時に。
- 11.あなたは、かれ（阻止する者）が、（正しい道）に導かれていると思うのか。
- 12.敬神を勧めているか、
- 13.（真理を）嘘であるとして背を向けたと思うのか。
- 14.かれは、アッラーが見ておられることを知らないのか。
- 15.断じてそうではない。もしかれが止まないならば、われは前髪でかれを捕えるであろう、
- 16.嘘付きで、罪深い前髪を。
- 17.そしてかれの（救助のために）一味を召集させなさい。
- 18.われは看守（の天使）を召集するであろう。
- 19.断じてそうあるべきではない。あなたはかれに従ってはならない。一途にサジダして（主に）近付け。〔サジダ〕

## SURA 97.・いつ章〔アル・カドル〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.本当にわれは、・いつの夜に、この（クルアーン）を下した。
- 2.・いつの夜が何であるかを、あなたに理解させるものは何か。
- 3.・いつの夜は、千月よりも優る。
- 4.（その夜）天使たちと聖霊は、主の許しのもとに、凡ての神命を(斉?)して下る。
- 5.暁の明けるまで、（それは）平安である。

## SURA 98.明証章〔アル・バイイナ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.啓典の民の中（真理を）拒否した者も多神教徒も、かれらに明証が来るまで、（道から）離れようとしなかった。
- 2.またアッラーからの使徒が、純聖な書巻を、読んで聞かせるまでは。
- 3.その中には、不滅の正しい記録（掟）がある。
- 4.啓典を授かっている者たちが、分派したのは、明証がかれらに来てから後のことであった。
- 5.かれらの命じられたことは、只アッラーに仕え、かれに信心の誠を尽し、純正に服従、帰依して、礼拝の務めを守り、定め喜捨をしなさいと、言うだけのことであった。これこそ真正の教えである。